

## I 令和3年度事業運営の特徴と課題

## 1. 各介護保険事業の状況

## (1) 特別養護老人ホームの利用状況

稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均 (月平均 人数)
介護老人福祉施設 定員 80 名	97.3	96.3	98.4	97.8	97.5	96.0	93.0	96.0	92.9	95.5	98.7	95.7	96.3 (2361.5 人)
短期入所生活介護 定員 20 名	99.0	101.1	103.7	103.7	104.0	100.8	95.9	93.3	97.1	96.6	41.9	53.1	90.9 (554.6 人)
特養 計 定員 100 名	97.6	97.3	99.43	99.0	98.8	97.0	93.7	95.5	93.8	95.7	87.3	87.1	95.2 2916.1 人
												前年比	-1.4%

\*特養・短期入所合計年間稼働率は前年より1.4%減の95.2%となりました。特養では急変者が5名と例年になく多く、新規の入所者がすぐに入所することが困難でした。2月に施設内で新型コロナウイルス症が確認され、広がりさせたため、約5週間に渡り短期入所の受け入れを停止しました。

## (2) 在宅サービスセンターの利用状況

稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均 (月平均 人数)
通常型通所介護 定員 30 名	68.8	69.1	71.7	75.1	78.5	75.5	80.0	79.0	82.2	81.8	83.5	82.8	77.3 (600.9 人)
認知症型通所介護 定員 10 名	40.4	40.0	42.3	41.9	39.6	41.9	41.5	34.6	47.4	50.8	45.4	38.5	42.0 (108.7 人)
通所 計 定員 40 名	61.7	61.8	64.3	66.8	68.8	67.1	70.4	67.9	73.5	74.1	74.0	71.8	68.5 (709.6 人)
												前年比	+2.3%

\*年間稼働率は、通常型通所介護が前年より、2ポイント増の75.3%  
(月平均利用人数600.9人/1日平均利用人数23.2人)  
認知症型通所介護が前年より2.9ポイント増の42.0%  
(月平均利用人数108.7人/1日平均利用人数4.2人)  
通所合計が前年より2.3ポイント増の68.5%となりました。

## (3) 介護老人福祉施設事業の状況

港区の指定管理者として平成28年度から令和2年度まで5年間の指定を受けておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年まで1年延長となりました。

サービスの提供はご利用者の個性や価値観を尊重し、個々の能力に応じた生活が営めることを目標としました。そのために、安全で快適な施設生活が送れるよう、ご利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスの提供に努めました。看護師の夜間配置により、胃ろう等の医療的ケアを必要とする要介護者を積極的に受け入れました。重度の認知症により特別な見守りが必要なご利用者が落ち

着いて過ごせるよう、専用スペースを設け専属の職員がケアを行いました。また、嘱託医との連携により 17 件の看取り介護を実施しました。

昨年度からラインビデオ通話を利用したオンライン面会を開始しました。感染症対応のみならず海外在住のご家族との面会にも利用することができました。面会については港区のガイドラインに沿って対応し、感染状況によってオンライン面会と対面面会を案内しました。

地域との連携については、感染症対応からボランティアの方の受入を控えました。例年地域の町会、商店会、警察、消防、関係団体など幅広いメンバーで構成する「地域懇談会」は書面での開催としました。また地域の協力を得て実施していた納涼祭については感染対策を講じ規模縮小して実施の予定で着手していましたが、近隣の感染状況に鑑み急遽中止としました。令和 4 年度は、コロナ禍での新しい地域交流の形を作っていきます。

#### (4) 短期入所生活介護事業の状況

ご利用者の心身の機能の維持並びにご家族の身体的及び精神的な負担の軽減が図れるよう、毎日のレクリエーション活動の充実を図るとともに、医療的ケアが必要な利用者を積極的に受入れるなど、できる限りご希望に応じたサービスの提供に努めました。令和 3 年度は感染症の影響で利用を控える方は少ない印象でした。感染症対策に努めてきましたが、令和 4 年 2 月に施設内で感染者が確認され広がりを見せたため、約 5 週間に渡り受入れを停止しました。同時期において、感染者が出たため受け入れを中止した施設が区内で複数あり、近隣区民のショートステイが利用できない状況がありました。

#### (5) 通所介護事業・認知症対応型通所介護事業の状況

デイサービスのご利用により、ご利用者の心身の安定、機能の維持そして、ご家族の身体的及び精神的な負担の軽減が図れるよう、サービスの提供に努めました。感染症対応の徹底を継続して行いましたが、3 月にご利用者 1 名が利用後に新型コロナウイルス陽性と診断されました。1 週間程度利用控えがありました。感染拡大はせずに経過しました。

事業全体では、新型コロナウイルス感染症の影響と、港区内、近隣区の施設が増えた事で施設入所が容易となっている状況の変化もあり、稼働率は微増にとどまっております。令和 4 年度は、個別のサークル活動の多様さや、個別機能訓練のより一層の充実を図り、関係機関に周知を進め、ご利用者の在宅生活の維持を目指します。

#### (6) その他

東京都が開催する認知症の専門研修を受講した職員が中心メンバーとなる「認知症介護プロジェクト」を実施しました。認知症状があり、自身の思いである「～したい」「～してほしい」が言葉で上手く表現できない利用者の真の思いに寄り添える職員を目指すべく、勉強会の内容を委員会で検討し、職員全員対象の勉強会なども行いました。また、その思いを引き出すためのアセスメント方法を委員会にて引き続き検討しています。

## 2 港区からの受託業務等の状況

### (1) 港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂の管理運営に関わる業務

港区の指定管理者として、港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂の管理運営に関わる看護に関する業務、介護に関する業務、その他複合施設であることによる建物管理等の業務を行いました。

### (2) 港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂の管理運営に関わる業務

港区の指定管理者として、港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂の管理運営に関わる入浴に関する業務、送迎に関する業務、その他調理委託等の業務を行いました。

### (3) 港区高齢者集合住宅の生活協力員業務

港区から委託を受け、港区立はなみずき白金等 4 か所の港区高齢者集合住宅の生活協力員、生活援助員業務を行いました。